

「TOKYO空き家活用魅力発信プロジェクト」が始まります

東京都には約90万戸の空き家があり、その多くは不動産市場で流通している一方、長期間利用されていない空き家もあります。こうした空き家は、アイデア次第で魅力的な地域資源に生まれ変わる可能性を秘めており、その活用を進めることは東京の活性化に繋がります。

とりわけ、西多摩・島しょ地域では、活用されていない空き家が多く、そうした空き家を移住・定住用住宅として活用することは地域の課題解決に繋がることから、都は、この度「TOKYO空き家活用魅力発信プロジェクト」を実施しますので、お知らせします。

記

1 TOKYO空き家活用魅力発信プロジェクト

(1) 事業概要

空き家の地域資源としてのポテンシャルを引き出すため、都内大学が持つ知見や都職員の技術力を活用し空き家のリノベーションのデザイン案を作成し、西多摩・島しょ地域の自治体と連携して移住・定住用住宅に改修するとともに、一連の過程（ビフォー・アフター）を動画で公開し、空き家活用の魅力を発信

(2) 対象物件

奥多摩町及び新島村が所有する空き家（3物件）

(3) 参加者（予定）

都内4大学（国士舘大学、東京大学、東京都立大学、法政大学）や若手・中堅の都技術職員が参加

〈対象物件〉

奥多摩町



奥多摩町



新島村式根島



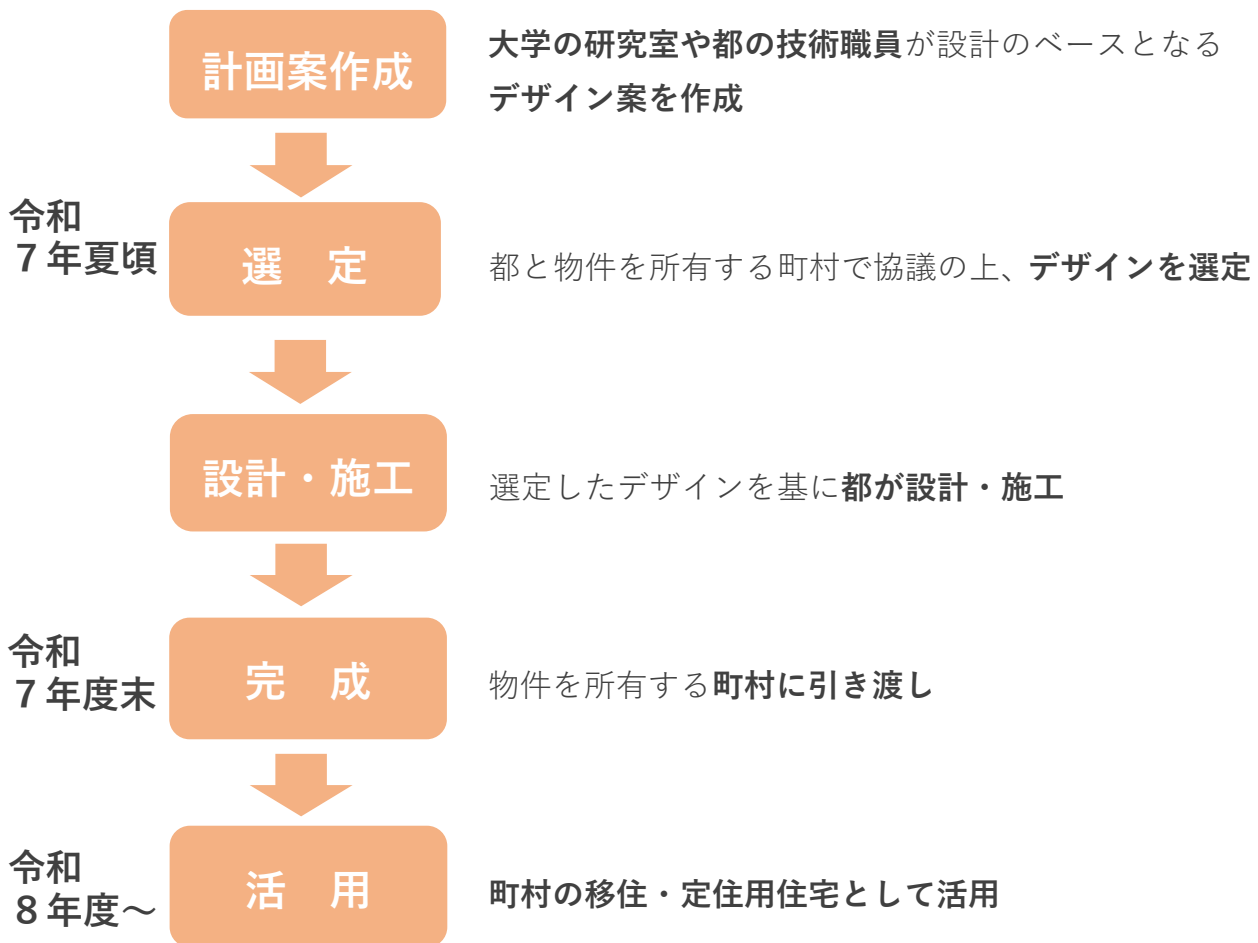
（問合せ先）住宅政策本部 民間住宅部 空き家施策推進担当課長 上田

直通 03-5000-5496 内線 30-319

改修前の建物や工事の様子、改修後の状況についての取材を希望される方も上記まで、問い合わせください。

（裏面に続く）

(4) 事業スキーム



(5) 動画による発信

プロジェクトでは、デザインの作成からリノベーションの完成までの過程をプロジェクトの進捗に合わせて動画等で発信し、空き家活用のムーブメントを創出



「2050 東京戦略」事業

本件は、「2050 東京戦略」を推進する取組です。

戦略 17【まちづくり・住まい】生活の基盤となる住まいの確保

戦略 25【多摩・島しょ】移住・定住の促進と良質な住宅の充実